

## 名称

## 安房の農家

千葉県立房総のむらには、千葉県を構成する上総・下総・安房のそれぞれの特徴的な農家を移築するのではなく、新築し再現しています。

本作品のモデルとなったのはこの中の安房の農家です。江戸時代中期の姿で復元されており、建物内の調度品もこの時代に使われていたものの複製品が置かれており、当時の新築農家の様子をうかがうことが出来ます。

作品はこの中の母屋の模型となっています。

全国にある「民家園」といえば、大体は移築したのですが、この公園の建物はそれぞれの時代の構造で復元し、調度品は複製品を配置しており、当時の暮らしをより身近なものとして感じることが出来ます。



## 特集

## 房総のむら・農家編

房総のむらには上総・下総・安房のそれぞれの特徴的な農家の他にも部苦言された武家屋敷や商家、重要文化財の指定を受けている農家なども展示されています。ここではその中の農家を紹介します。



重要文化財 平野家住宅 千葉県富津市にあったものを移築。名主の住宅とのこと。茅葺寄棟の屋根はここに展示されている農家に共通するものです。



訪問時は工事中で見ることが出来なかった安房郡丸山町から移築された御子神家住宅。こちらも重要文化財に指定されています。

モデルとなった安房の農家。この他にも灰小屋・馬小屋が復元されています。



こちらは上総の農家。屋根は茅葺・寄棟



下総の農家。やはり屋根は茅葺・寄棟

